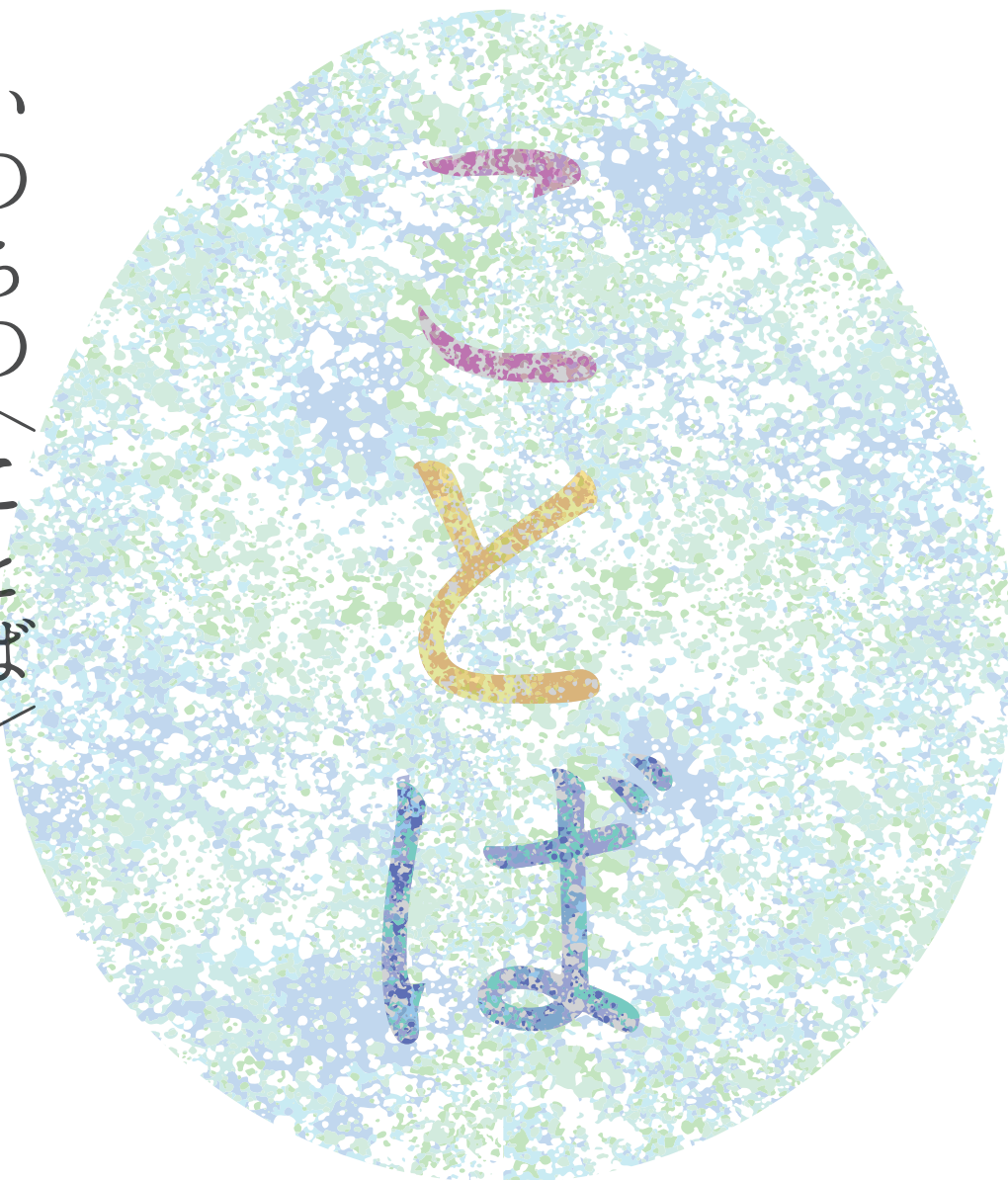




いのちの〈ことば〉
——次世代市民が共創する知のあり方



2022.07.28 Thu. 17:00-19:30

@豊中キャンパス・大阪大学会館2階 SSI豊中ラウンジ

●参加費: 無料

●定員: 先着20名

※状況によってはオンライン開催になる場合あり

子どもを始めとする「当事者の参加」という意味での「当事者中心の教育」と、そのような教育を通して市民参加型の社会を構想・構築するにはどうしたらよいか。それには、既存の社会で使用されている、だが現実に即さず機能不全を起こしているカテゴリー分けやシステムの区分といった境界(boundaries)を問い直す必要がある。この問い直しにおいて何より重要なのは、教科書や行政文書、マスコミを通して提示されるオーソリティからの借り物の言葉ではなく、市民が自らの生を象るために共創する〈ことば〉を社会改善に貢献する公共の知とすること、そのような公共の知を、大人だけではなく、子どもだけでもなく、子どもと大人が協働しながら生み出しているような次世代の市民を育成することである。このような視点に立って、今回のサロンでは、様々な立場から「教育」に取り組まれている方々をお招きし、〈ことば〉を共創する市民を育成するシステムの構築について議論する。

■ プログラム

- 17:00 開会挨拶 堂目卓生 SSI長／経済学研究科教授
17:10 話題提供
●岡部美香 人間科学研究科教授
「当事者と共創する公共の知」
●田熊美保 OECD教育スキル局シニア政策アナリスト
「世界の国々における「子どもの社会参加」の現状」
●榎田千佳 大阪府教育庁市町村教育室・室長
「子どもたちと共創する教育と社会——地方自治体のいまとこれから」
●小玉重夫 東京大学・教育学研究科教授
「コメント 市民が参加する意味」
18:10 ディスカッション (モデレーター: 岡部美香)
19:30 終了